

問い合わせ先 土木部公共工事契約課 公共工事契約管理係 0742-27-7486
---

## 平成20年度 第1回 奈良県入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成20年7月10日(木) 県庁第1会議室	
委員	委員長 池田 敏雄 委員長代理 川崎 祥記 伊藤 忠通 川村 容子 久保 博子(欠席)	
審議対象期間	平成19年12月1日～平成20年3月31日	
抽出案件	7 件	(備考) ○審議対象期間中の総契約件数、指名停止措置状況、入札契約制度の適正化に係る取組状況並びに談合情報の対応について説明
一般競争入札	3 件	
公募型指名競争入札	0 件	
指名競争入札	3 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	次 頁 参 照	
委員会による意見具申又は勧告の内容	<p>○抽出案件については、不正を疑わせる入札はなく、概ね妥当であるとする。なお、辞退者が多い案件について、年度末に発注が集中することも一因であると考えられることから、発注時期の平準化に向けて意を尽くすこと。</p> <p>○今般、大幅な制度改正がなされたところであるが、より競争性の高い入札とするため、今後とも一般競争入札の拡大に向けて努力すること。</p> <p>○電子入札制度について、既に土木A等級について実施されたところであるが、それ以外のランク、業種についても、速やかな導入について努めること。</p> <p>○談合防止策の一環として、このたび、電子入札制度の導入に伴い、仕様書の電子閲覧等が実施される等、業者が一堂に会さずに閲覧が可能となったところであるが、今後とも談合防止に向けてさらなる検討を深めること。</p> <p>○地域要件の撤廃に向けて、全県一括でなくても、複数管内一括にする等、制度の見直しについて検討すること。</p> <p>○新たな制度の下で適正な入札・契約が行われるよう注視するとともに、今後とも適正な制度構築に向けて尽力すること。</p>	

質 問	回 答
案件1(大和高田広陵線地方道路交付金事業(道路改良)工事)	
○総合評価方式を導入していれば入札者が1者でも入札を執行するとのことだが、その理由は？	●総合評価方式は、詳細な技術提案と施工能力を鑑みて選定するため、業者の負担も大きく、入札参加者は減少する場合があるが、価格だけではない品質確保の観点から評価する方式であるため、入札参加者が1者でも入札が成立するよう、平成19年度途中に制度改正したところ。
○従来どおりの一般競争入札や指名競争入札で入札してはいけないのか？	●技術提案等を加味することにより品質の確保が担保できることから、国の施策としても、総合評価方式の導入が趨勢となっており、県もそれに倣ったところ。
案件2(桜井田原本王寺線地方道路交付金事業(橋りょう補修)工事)	
○年度末に近づいた中での発注だが、発注時期の調整は無理だったのか？もう少し前倒しでできなかったのか？	●当初は、11月に指名競争入札を実施したところ、参加者が3者未満だったため入札を中止、設計変更後の2回目(12月)の指名競争も同一事由により中止。その後、一般競争入札とし、参加者も増えたが、その間の手続の関係上、結果的に1月になった。また、この時期は、国の施策として、耐震補強工事を重点的に実施したため、全国的に業者における技術者不足の感もあった。
案件3(一般農道整備事業大野向湊地区橋梁上部工工事)	
○入札者が少ないため不成立となり、入札を3回実施したとのことだが、その理由は？	●鋼材価格の高騰が主な理由。本県でもこのたび単品スライド条項が適用されたが、それ以前より鋼材価格が高騰しており、発注しても採算が取れない状況であったため、受注を手控えていたものと推察される。
案件4(一般国道368号地域連携推進事業(国道特殊改良)工事)	
○入札辞退者が多いがその理由は？施工が難しい工事なのか？	●工事場所が三重県との県境であり、大半の指名業者にとっては立地上参加することは困難であるとして入札を辞退したものとする。
案件5(御所香芝線道路リフレッシュ地方道路交付金舗装補修事業工事)	
○発注時期が悪いため辞退が多いとのことだが、それ以外に理由はあるのか？	●発注時期の平準化に向けては今後の検討課題であるが、経費がかかる割に利益が少ない工種となっている。業者にとって利益が少ないので敬遠していると考えられる。
案件6(一般国道166号他道路自然災害防止事業工事)	
○発注時期が悪いため辞退が多いとのことだが、それ以外に理由はあるのか？	●危険性を伴う工事であり、高度な施工を伴うこと、また、特殊材料で経費節減が図れないため、辞退が多かったと考える。発注時期については、落石事故の補修という緊急性を伴う工事であったため、年度内の完了を目指し、この時期の入札となった。